

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
日本事情B	共通	1年生・後期	2	選必	坂上 宏
履修の前提条件	大日本帝国憲法および日本国憲法の条文に目を通しておくことが望ましい。※履修規程第5条3項に基づいて原則として留学生は全員履修すること、日本人の履修は認めない。※禁止事項: 不必要な私語。正当な理由でない遅刻および許可のない入室。携帯電話の使用。その他指定する事項。				
授業概要 (Course Outline)					
近現代における日本の政治・経済に関わる事情をなるべく平易に解説します。まず政治については、天皇、国会、内閣の権能について、大日本帝国憲法および日本国憲法の条文を比較しながら説明します。次にサンフランシスコ講和条約以降の日本の平和外交の歩みについて説明します。経済については、第二次大戦後の経済復興、高度経済成長、バブル経済とその破綻などについて説明します。必要に応じて、現代日本が直面している主要な問題についても言及したいと思います。本講義によって、留学生が近現代の日本の政治経済事情について理解を深めることができれば幸いです。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture	○			
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	○			
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力 Problem Solving				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				
	自己管理能力 Self-management				
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense	○			
	市民としての社会的責任 Social Responsibility	○			
	生涯学習力 Lifelong Learning				
到達目標 (Objectives)					
①明治維新以後の天皇の立場および日本の政治制度(特に国会、内閣)の変化について理解できるようになること。 ②現代日本外交の主な特徴について理解できるようになること。 ③現代日本の経済発展の経緯と特徴、産業構造とその変容について理解できるようになること。 ④現代日本社会の諸問題について理解できるようになること。					
事前学習の内容	配布プリントや参考書を読んで次の授業の概要を把握し、疑問点などを明確にしておくこと。				
事後学習の内容	配布プリント、ノート、参考書などを読んで、授業の内容について理解を深めておくこと。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
対話型の授業を心がけます。学生からの積極的な発言を期待します。 毎回の授業の終わりにコメントカードの作成・提出をお願いします。感じたことや意見などを自由に書いてください。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
連絡、問い合わせ、相談等は研究室(363)およびメール(sakagami@kiis.ac.jp)にて随時受け付けます。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定する日時までに提出してください。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	授業の方針など、近代日本の出発:大日本帝国憲法の制定 :プリント1		
第2回	近代日本の出発:大日本帝国憲法の制定、大日本帝国憲法の成立とその主な特徴 :プリント2		
第3回	大日本帝国憲法の成立とその主な特徴、日本国憲法と民主主義の発達 :プリント3		
第4回	日本国憲法と民主主義の発達、大日本帝国憲法と天皇 :プリント4		
第5回	大日本帝国憲法と天皇、日本国憲法と天皇 :プリント5		
第6回	大日本帝国憲法と国会 :プリント6		
第7回	大日本帝国憲法と国会、日本国憲法と国会 :プリント7		
第8回	日本国憲法と国会 :プリント8		
第9回	大日本帝国憲法と内閣、日本国憲法と内閣 :プリント9		
第10回	日本国憲法と内閣、戦後日本の外交～平和主義と日米同盟 :プリント10		
第11回	戦後日本の外交～平和主義と日米同盟 :プリント11		
第12回	戦後日本の外交～平和主義と日米同盟、戦後の日本経済の再建 :プリント12		
第13回	戦後の日本経済の再建と三大改革、高度経済成長 :プリント13		
第14回	高度経済成長、産業構造の高度化、石油危機とその影響 :プリント14		
第15回	バブル経済とその崩壊、少子高齢化と社会保障 :プリント15		
第16回	定期試験、ポートフォリオ作成等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
プリント配布			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『詳説 政治・経済』	山崎 広明	山川出版	463470062X
『もういちど読む山川政治経済』	〃	〃	4634590670
『日本の歴史(26)よみがえる日本』	蛭山 政道	中公文庫	412204748X
『戦後と高度成長の終焉 日本の歴史24』	河野 康子	講談社学術文庫	4062919249
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>成績評価の方法:試験90%。平常点10%(毎回の授業コメントカードの提出、「科目別履修確認チェック表」の提出)。 成績評価の基準 :①大日本帝国憲法および日本国憲法における天皇、国会、内閣の権能について理解しているか。②日本外交の平和主義の特徴について理解しているか。③日米同盟と日本の戦後外交の歩みについて理解しているか。④戦後の日本の経済再建と経済の民主化について理解しているか。⑤日本の高度経済成長とその要因および産業構造の特徴について理解しているか。</p>			